



【30北演「病院機能及び救命ドクトリンの実効性向上訓練」】 平成30年9月4日

自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、平成30年9月4日（火）、平成30年度北部方面隊総合戦闘力演習（30北演）総合訓練に参加し、「自衛隊病院として方面隊の総合戦闘力を最大限に発揮した作戦遂行能力向上への寄与」を目的とした病院計画訓練を行い、病院機能の向上及び救命ドクトリンの実効性向上を図りました。

シムマン®（※1）を用いたシミュレーションでは、DCS（※2）が施された後送患者の受け入れに始まり、処置、検査、集中治療等の流れの中で変化してゆく患者状況への対応要領や検査部門との連携要領について演練を重ね、今後の資としました。

※1 シムマン®（SimMan®）：生理学的な症状だけでなく神経学的な症状も現示することができる患者シミュレータ

※2 DCS（Damage Control Surgery）：重症外傷に対する緊急手術で、「蘇生目的の初回手術」「全身状態の安定化を図る集中治療」「修復・再建手術」からなる救命目的の外科治療戦略



受入後の患者状態の把握



適時適切な状況付与



医官指示に基づく患者状態への対応



変化する患者状態の原因探求



輸血に関する調整



安全かつ迅速なCT撮影